

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 02 生涯学習の充実

主管課 生涯学習課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (21年度)	施策の課題 (21年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、高度情報化、国際化などが急速に進展していく中で、高齢者医療などの社会保障、地球規模の環境悪化、産業構造の変化による雇用の不安定化や経済的格差の拡大などの問題がますます深刻化し、様々な課題が生じている。 ・都市化、少子化の進展や経済的な豊かさの実現など社会が成熟化する中で、家庭や地域の教育力の低下が進み、様々な問題が生じてきている。 ・物質的な豊かさに加え、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごし、その中でそれぞれの自己実現を図ることを求める人が増えており、精神的な充実や生活向上のため、学習の機会や要求が多様化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に応じ、生涯にわたり職業能力や就業能力を持ち、社会生活を営む上で必要な知識や技能等を習得させ、それぞれの持つ資質や能力を伸長することのできるような学習の機会や場の提供など、学習支援の充実がより一層必要である。 ・個人の要求や育成に向けた学習支援に加え、市民協働の促進を図るとともに、学校や地域、家庭との連携、協力体制を強化し、家庭や地域教育力の向上を図るべく、地域社会の基盤整備が必要である。 ・経験や学習により習得した資質や能力を伸長すべく人材育成に向けた学習支援とともに、その人材を地域やまちづくりに生かしていくというような循環型の学習システムの構築が必要である。

施策の目的

生涯にわたって学習できる環境を整えることによって、市民が生涯学習を行う機会が増加し、自己の充実を図り、生きがいを見いだすことができるようになります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生涯学習を行う市民が増加する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習を行う市民割合	%	38.7	44.1			↗

施策の達成状況 (21年度)

少子高齢化、高度情報化、国際化が急速に進む中、今こそ地域の活性が必要となっている。その一端として、生涯学習が必要とされている。その状況下、健康で生きがいのある人生を過ごし、精神的な充実や生活の向上のための学習機会が望まれる。今後もより一層の学習機会等の提供や施設整備を図り、学習の成果を地域やまちづくりに発揮できるような環境整備に努めていく。

施策事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	329,882	333,892	317,201
事業費(千円)	245,876	252,149	234,753
人件費(千円)	84,006	81,743	82,448

01 生涯学習関連施設の充実

基本事業の目的

図書館や公民館などの施設を充実させることにより、生涯学習に取り組む市民・団体に学習する場を提供することができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

生涯学習関連施設

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・学習目的を達成する場がある。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習施設が充足していると思う市民割合	%	71.1	73.5			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

公民館の利用人数については横ばい状態にあるものの、指定管理者が行っている利用者アンケート調査で、施設満足度70%を超える数値となっている。生涯学習充実の為、今後もサービス向上と施設の整備を図っていく。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	277,214	259,857
事業費(千円)		231,158	213,221
人件費(千円)		46,056	46,636

02 生涯学習支援体制の推進

基本事業の目的

市民に学習に関する情報を提供したり実施団体に対して補助・支援を行い、利用者が自分たちで活動・学習内容を選択するための情報を得ることができるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

学習情報の利用者、生涯学習を主体的に行う団体

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・自分たちで主体的に活動・学習内容を選択するための情報を知ることができる。
・組織を作り自分たちで活動できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習の情報が充足していると思う市民割合	%	70.5	71.7			↗
生涯学習を主体的に行う団体数	団体	240	241			240

基本事業の達成状況 (21年度)

生涯学習推進協議会は、教育のみならず文化や福祉関係団体など様々なジャンルの団体が加盟し、市民協働のもと生涯学習を推進していく上では、核となる組織であり、現代的課題や市民の学習要求を的確に捉えた学習の機会の提供のほか、加盟団体との連携を図る事業や学習活動を行なうための学習情報や指導者情報の提供に努めている。今後は、これまでの活動を更に推進していくとともに、自主自立した協議会となることや市民団体としてボランティアなどの人材を活用する体制や地域社会の基盤整備に向けた取り組みが期待される。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	7,156	6,982
事業費(千円)		2,591	2,402
人件費(千円)		4,565	4,580

基本事業の目的

生涯学習を受ける機会を充実させることによって、様々な生涯学習に取り組む市民が増えるとともに、その学習成果を社会の中で活かすことができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

生涯学習に取り組む市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・学習機会がある。
- ・学習目的にあわせた指導が受けられる。
- ・個人学習に必要な資料の提供が受けられる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習機会が充実していると思う市民割合	%	70.2	71.9			↗
学習した成果をまちづくりやボランティア活動等に活かしている市民の割合	%	-	24.9			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

現在、幼児とその親、児童生徒、成人、高齢者などと世代別に応じた学習の機会の提供に努めているが、その成果や満足度には個人差があり、一概には判断できないものの、事業参加者においては、比較的良好な意見を得ている。今後においては、市民との協働や学校、地域、家庭との連携を図りながら、多様な学習ニーズの把握に努めるとともに、既存事業を含めて見直しや創意工夫した取り組みを進めていく必要がある。なお、情報図書館においては、読書普及事業や読書ボランティア団体などの連携した学習の機会の提供が図られている。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	32,678	33,298
事業費(千円)		7,780	8,313
人件費(千円)		24,898	24,985

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			